

◇◇◇ 2019年度 学校評価のためのアンケート ◇◇◇ 学校評議員用

このアンケートは、本校の教育活動を振り返り、評価するための資料とすることを目的としています。
 2019年度学校要覧の「運営の重点」をもとにした項目で質問内容を作成しました。
 ①～⑲の各項目について該当するものをA～Fの中から選び、○で囲んで下さい。
 各項目は、すべて、「附属特別支援学校(学級)は、・・・」という視点で、お答え下さい。

A そう思う B だいたいそう思う C どちらでもない D あまりそう思わない E そう思わない F わからない

そう 思う	だ い たい そ う 思 う	ど ち ら で も な い	あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い
5	4	3	2	1	0

1 一人一人を大切にす指導について

							H30	R1
① 子どもの発達段階を踏まえ、一人一人の子どもにあった指導内容を設定して、指導にあたっている。	4	1	0	0	0	0	5.0	4.8
② 子どもの長期的な目標、短期的な目標をそれぞれ明確にし、一貫した指導が行われている。	3	2	0	0	0	0	4.6	4.6
③ 障がい、能力、適性を踏まえた活動を用意されている。また、子どもにあわせて学習過程や指導の手だてを工夫されている。	2	3	0	0	0	0	5.0	4.4
④ 絵や写真、支援ツールなど具体的な教具を使って活動が行われ、子どもが体得するまで根気強く指導にあたっている。	4	1	0	0	0	0	4.8	4.8
⑤ 子どもの姿を見つめた指導がなされ、子どもの成長が、教育支援計画・移行支援計画等に生かされている。	3	2	0	0	0	0	5.0	4.6

2 子どもを育てる環境づくりについて

⑥ 教室や運動場を整えられ、子どもが楽しく、喜んで活動したくなる教具や遊具が準備されている。	3	1	1	0	0	0	4.2	4.4
⑦ 小学部運動場の各種遊具、くすのきホーム、作業棟、農園等がよく利用されている。	2	3	0	0	0	0	4.4	4.4
⑧ 教室のホワイトボードや掲示板、廊下の掲示板の掲示物が工夫されている。また、教室内外を整理整頓されており、子どもが気持ちよく、安全に生活できる環境が整えられている。	4	1	0	0	0	0	5.0	4.8
⑨ 買い物学習や外食学習など、校外での諸活動が積極的に行われている。また、学校間交流や居住地交流なども積極的に行われている。	3	2	0	0	0	0	4.8	4.6

3 うるおいのある学校づくりについて

⑩ 毎日の日課、週予定をきちんと示すことで、子どもが見通しをもって生活できるように工夫されている。	4	1	0	0	0	0	4.8	4.8
⑪ 子どもが楽しめる行事や活動を数多く実施され、子どもが生き生きと主体的に活動している。	3	2	0	0	0	0	5.0	4.6
⑫ 全校児童生徒がふれ合う「なかよしタイム」など、全校や異年齢集団で活動する場が大切にされている。	3	2	0	0	0	0	5.0	4.6

4 学校と家庭、その他関係諸機関との積極的な連携について

⑬ 保護者や関係諸機関と連携し、同一歩調で子どもの指導・支援にあたっている。	4	1	0	0	0	0	5.0	4.8
⑭ 各部通信やホームページ、連絡帳や電話連絡などとおして情報の共有化が図られ、要望や相談に対する対応が迅速である。	2	3	0	0	0	0	4.5	4.4
⑮ 学校評議員など、外部の方の意見を取り入れられ、「開かれた学校づくり」の推進に努力されている。	4	1	0	0	0	0	5.0	4.8
⑯ 協議会において授業公開をしたり、特別支援教育講座の先生を招いたセミナーを開催したり、地域の園や学校において子どもや教師の支援をしたりして、地域の特別支援教育を推進されている。	4	1	0	0	0	0	5.0	4.8
⑰ 他の附属学校と連携、協働して共生教育が推進されている。	4	1	0	0	0	0	4.8	4.8

5 その他の学校運営に関して

⑱ 緊急事態（災害・事故・不審者侵入など）が発生した場合の対応や備え（避難訓練・不審者対応訓練）、保護者への緊急連絡（一斉メール配信）が適切に行われている。	2	2	0	0	0	1	4.6	4.5
⑲ 学校運営に関するアンケートを実施したうえで、その結果を公表し、学校運営の改善が図られている。	4	1	0	0	0	0	5.0	4.8

・多岐にわたる仕事に誠実に応じている教職員の皆様に敬意を表します。無理すぎないよう、欲張りすぎないようにご精進ください。困ったら「子どもたち」に戻って考えていくことだけは常に忘れないことを大切に。

ご協力ありがとうございました。

◇◇◇ 2019年度 学校評価のためのアンケート ◇◇◇ 保護者用

このアンケートは、本校の教育活動を振り返り、評価するための資料とすることを目的としています。
2019年度学校要覧の「運営の重点」をもとにした項目で質問内容を作成しました。
①～⑲の各項目について該当するものをA～Fの中から選び、○で囲んで下さい。
各項目は、すべて、「附属特別支援学校(学級)は、…」という視点で、お答え下さい。

そう思う	だいたい そう思う	どちらでも ない	あまりそう 思わない	そう 思わない	わから ない
5	4	3	2	1	0

5 そう思う 4 だいたいそう思う 3 どちらでもない 2 あまりそう思わない 1 そう思わない 0 わからない

1 一人一人を大切にしている指導について

	5	4	3	2	1	0	H30	R1
① 子どもの発達段階を踏まえ、一人一人の子どもにあった指導内容を設定して、指導にあたっている。	31	14	1	3	0	1	4.4	4.5
② 子どもの長期的な目標、短期的な目標をそれぞれ明確にし、一貫した指導が行われている。	29	15	4	1	1	0	4.4	4.4
③ 障がい、能力、適性を踏まえた活動を用意されている。また、子どもにあわせて学習過程や指導の手だてを工夫されている。	28	17	1	1	1	2	4.4	4.5
④ 絵や写真、支援ツールなど具体的な教具を使って活動が行われ、子どもが体得するまで根気強く指導にあたっている。	26	21	0	1	1	1	4.4	4.4
⑤ 子どもの姿を見つめた指導がなされ、子どもの成長が、教育支援計画・移行支援計画等に生かされている。	30	15	1	1	1	2	4.4	4.5

2 子どもを育てる環境づくりについて

⑥ 教室や運動場を整えられ、子どもが楽しく、喜んで活動したくなる教具や遊具が準備されている。	26	19	2	2	0	1	4.3	4.4
⑦ 小学部運動場の各種遊具、くすのきホーム、作業棟、農園等がよく利用されている。	25	21	2	0	1	1	4.4	4.4
⑧ 教室のホワイトボードや掲示板、廊下の掲示物の掲示物が工夫されている。また、教室内外を整理整頓されており、子どもが気持ちよく、安全に生活できる環境が整えられている。	31	18	1	0	0	0	4.5	4.6
⑨ 買い物学習や外食学習など、校外での諸活動が積極的に行われている。また、学校間交流や居住地交流なども積極的に行われている。	31	13	4	1	0	1	4.4	4.5

3 うるおいのある学校づくりについて

⑩ 毎日の日課、週予定をきちんと示すことで、子どもが見通しをもって生活できるように工夫されている。	35	10	5	0	0	0	4.5	4.6
⑪ 子どもが楽しめる行事や活動を数多く実施され、子どもが生き生きと主体的に活動している。	36	12	2	0	0	0	4.4	4.7
⑫ 全校児童生徒がふれ合う「なかよしタイム」など、全校や異年齢集団で活動する場が大切にされている。	39	10	0	1	0	0	4.7	4.7

4 学校と家庭、その他関係諸機関との積極的な連携について

⑬ 保護者や関係諸機関と連携し、同一歩調で子どもの指導・支援にあたっている。	30	17	2	0	1	0	4.3	4.5
⑭ 各部通信やホームページ、連絡帳や電話連絡などとおして情報の共有化が図られ、要望や相談に対する対応が迅速である。	36	11	1	2	0	0	4.4	4.6
⑮ 学校評議員など、外部の方の意見を取り入れられ、「開かれた学校づくり」の推進に努力されている。	20	15	8	1	0	6	4.0	4.2
⑯ 協議会において授業公開をしたり、特別支援教育講座の先生を招いたセミナーを開催したり、地域の園や学校において子どもや教師の支援をしたりして、地域の特別支援教育を推進されている。	27	17	2	2	0	2	4.3	4.4
⑰ 他の附属学校と連携、協働して共生教育が推進されている。	21	21	3	1	2	2	4.2	4.2

5 その他の学校運営に関して

⑱ 緊急事態（災害・事故・不審者侵入など）が発生した場合の対応や備え（避難訓練・不審者対応訓練）、保護者への緊急連絡（一斉メール配信）が適切に行われている。	39	9	2	0	0	0	4.7	4.7
⑲ 学校運営に関するアンケートを実施したうえで、その結果を公表し、学校運営の改善が図られている。	25	18	3	0	1	3	4.5	4.4

◇◇◇ 2019年度 学校評価のためのアンケート ◇◇◇ 職員用

このアンケートは、本校の教育活動を振り返り、評価するための資料とすることを目的としています。
2019年度学校要覧の「運営の重点」をもとにした項目で質問内容を作成しました。
①～⑱の各項目について該当するものをA～Fの中から選び、○で囲んで下さい。
各項目は、すべて、「附属特別支援学校(学級)は、・・・」という視点で、お答え下さい。

そう思う	だいたいそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
5	4	3	2	1	0

5 そう思う 4 だいたいそう思う 3 どちらでもない 2 あまりそう思わない 1 そう思わない 0 わからない

1 一人一人を大切にしている指導について

	5	4	3	2	1	0	H30	R1
① 子どもの発達段階を踏まえ、一人一人の子どもにあった指導内容を設定して、指導にあたっている。	11	14	0	0	0	0	4.5	4.4
② 子どもの長期的な目標、短期的な目標をそれぞれ明確にし、一貫した指導を行っている。	8	13	3	1	0	0	4.0	4.1
③ 障がい、能力、適性を踏まえた活動を用意している。また、子どもにあわせて学習過程や指導の手だてを工夫している。	16	9	0	0	0	0	4.5	4.6
④ 絵や写真、支援ツールなど具体的な教具を使って活動が行われるようにし、子どもが体得するまで根気強く指導にあたっている。	19	5	1	0	0	0	4.6	4.7
⑤ 子どもの姿を見つめた指導をし、子どもの成長を、教育支援計画・移行支援計画等に生かしている。	8	14	2	1	0	0	4.4	4.2

2 子どもを育てる環境づくりについて

⑥ 教室や運動場を整備し、子どもが楽しく、喜んで活動したくなる教具や遊具を準備している。	14	9	2	0	0	0	4.5	4.5
⑦ 小学部運動場の各種遊具、くすのきホーム、作業棟、農園等をよく利用している。	16	7	1	1	0	0	4.7	4.5
⑧ 教室のホワイトボードや掲示板、廊下の掲示板の掲示物を工夫している。また、教室内外を整理整頓しており、子どもが気持ちよく、安全に生活できる環境を整えている。	13	10	2	0	0	0	4.6	4.4
⑨ 買い物学習や外食学習など、校外での諸活動が積極的に行っている。また、学校間交流や居住地交流なども積極的に行っている。	15	9	1	0	0	0	4.7	4.6

3 うるおいのある学校づくりについて

⑩ 毎日の日課、週予定をきちんと示し、子どもが見通しをもって生活できるように工夫している。	15	10	0	0	0	0	4.6	4.6
⑪ 子どもが楽しめる行事や活動を数多く実施し、子どもが生き生きと主体的に活動できるようにしている。	19	5	0	0	0	1	4.8	4.8
⑫ 全校児童生徒がふれ合う「なかよしタイム」など、全校や異年齢集団で活動する場を大切にしている。	14	9	1	0	0	1	4.6	4.5

4 学校と家庭、その他関係諸機関との積極的な連携について

⑬ 保護者や関係諸機関と連携し、同一歩調で子どもの指導・支援にあたっている。	11	14	0	0	0	0	4.6	4.4
⑭ 各部通信やホームページ、連絡帳や電話連絡などとおして情報の共有化を図り、要望や相談に対する対応を迅速にしている。	16	9	0	0	0	0	4.8	4.6
⑮ 学校評議員など、外部の方の意見が取り入れられ、「開かれた学校づくり」の推進に努力している。	9	12	2	0	0	2	4.4	4.3
⑯ 協議会において授業公開をしたり、特別支援教育講座の先生を招いたセミナーを開催したり、地域の園や学校において子どもや教師の支援をしたりして、地域の特別支援教育を推進している。	15	8	2	0	0	0	4.3	4.5
⑰ 他の附属学校と連携、協働して共生教育を推進している。	8	11	3	3	0	0	4.3	4.0

5 その他の学校運営に関して

⑱ 緊急事態（災害・事故・不審者侵入など）が発生した場合の対応や備え（避難訓練・不審者対応訓練）、保護者への緊急連絡（一斉メール配信）を適切に行っている。	21	4	0	0	0	0	4.7	4.8
⑲ 学校運営に関するアンケートを実施したうえで、その結果を公表し、学校運営の改善を図っている。	15	9	1	0	0	0	4.5	4.6

<2019年度 学校評価のためのアンケートを受けて>

- * どの項目においても、4.0以上の評価をいただきました。今後とも、努力を重ね、よりよい学校づくりに取り組んでまいります。
- * 「わからない」と答えられた方が多い、「⑮学校評議員など、外部の方の意見が取り入れられ、「開かれた学校づくり」の推進に努力されている」の項目につきましては、学部通信やホームページなどを用いて、取り組み内容をお伝えできるよう努めます。
- * 「⑤子どもの姿を見つめた指導をし、子どもの成長を、教育支援計画・移行支援計画等に生かしている。」の項目につきましては、個別の指導計画、教育支援計画、移行支援計画等を見直し、保護者と連携して子どもたちの成長にさらに生かせるよう、内容、形式の検討を重ね、より充実したものとなるように努めます。
- * 「⑰他の附属学校と連携、協働して共生教育が推進されている」の項目につきましては、附属三校で協議する機会を多く設け、職員間の交流、研修を行い、積極的に共生教育を推進することに努めるとともに、取り組みの内容を保護者や地域の方に伝え、家庭・地域も含めた活動として推進するよう努めます。